

2022 年度 DRP 検討委員会
第 2 回会合議事録 (案)

日時： 2022 年 6 月 22 日(水) 10:30～11:50
場所： リモートでの開催

1. 議題：

1. 2022 年度 DRP 検討委員会第 1 回会合議事録 (案) について
2. 2022 年度パネリスト候補者研修について
3. JP-DRP 多言語化及び WIPO との提携などについて
4. その他

2. 資料一覧：

- 資料 1 2022 年度 DRP 検討委員会第 1 回会合議事録 (案)
資料 3 JP-DRP 多言語化及び WIPO との提携などについて

参考資料 2-1 2022 年度パネリスト候補者研修について
参考資料 2-2 事例研究の事案選定のための裁定リスト

3. 出席者(50 音順)(敬称略)

	氏名	所属
DRP 検討委員会 委員長	井上 葵	アンダーソン・毛利・友常 法律事務所 外国法 共同事業 弁護士
DRP 検討委員会 委員	卜部 晃史	弁護士法人 瓜生・糸賀 法律事務所 弁護士
DRP 検討委員会 委員	早川 吉尚	立教大学 教授/弁護士
DRP 検討委員会 委員	山口 裕司	大野総合 法律事務所 弁護士 日本知的財産仲裁センター運営委員
担当理事	曾根 秀昭	JPNIC 常務理事 DRP 担当

JPNIC 事務局：林 宏信、前村 昌紀、山崎 信

4. 傍聴

JPRS 1 名

5. 議事

10時30分に井上委員長により開会された。

議題1. 2022年度DRP検討委員会第1回会合議事録(案)について

- ・2022年度第1回の議事録については、事前に送付してもらっており、この場では、特段の意見などないので、明日を期限にメールでの意見も確認の上確定とする。(井上)

議題2. 2022年度パネリスト候補者研修について

- ・第1回については、講師、日程、内容が決定した。
- ・第2回については、パネリストの先生二人に講師をお願いすることが、前回の検討委員会での議論であったが、一度の研修で二人の先生に講師をお願いするより、一人の先生をお願いして、解説や質疑を充実させるのが良いのではないかと。
- ・事例研究としての事例自体の面白さだけでなく、初めてパネリストを受けた時の経験などをパネリスト候補者で共有して、議論するような内容も良いのではないかと。
- ・第2回は、一人をお願いすることを前提として、講師候補の先生と調整したうえで、秋に開催することを目途に具体的な日程、内容などを決定する。
- ・2回目以降については、第2回を決定後に検討することとする。
- ・講師の先生には、資料作成の負担が大きにならないように、トークショー形式なども含め工夫をお願いする。

議題3. JP-DRP 多言語化及びWIPOとの提携などについて

- ・WIPOとの交渉では、回答をまだしていない状況なので、提携を前提とはしないが、JPNICとしてWIPOと意見交換の場を持つことが求められるのではないかと。
- ・WIPOに対して、決して前向きではない回答をする方向なのであれば、敢えて会議を設定する必要まではないのではないかと。

- ・ DRP 検討委員会として、WIPO と情報交換を行い、そのうえで、方針を検討するのが、検討委員会のマンデートではないか。
- ・ 次回の検討委員会のアジェンダの一部として、WIPO との意見交換の場を設定して、JPNIC も陪席することで、WIPO と日程調整を行う。
- ・ WIPO には、事前に、現状では明確な方針はないことと、情報交換したいポイントを伝えておくのが良いのではないか。

議題 4. その他

- ・ 次回検討委員会は、9月5、7、9、12日の何れかでWIPO と調整して決定する。最初の1時間は、WIPO との打ち合わせ、残りの1時間を通常の見討委員会の議題として、時間帯は、いずれも先方の時間帯に合わせて16時から18時くらいで開催することとする。
(井上)

以上をもって、井上委員長により会議は11時50分に閉会された。

以上